

国語と物理のクロスカリキュラム（5月10日～13日）

3年生の現代文の評論「生物多様性の恩恵」（鷲谷いづみ）において、生物模倣技術の記述があった。この生物模倣技術（バイオミミクリー）の例について、物理担当の教諭が詳しく解説した。

解説内容

- ①フクロウの羽と新幹線のパンタグラフ
- ②カワセミのくちばしと新幹線車両の先頭部分
- ③ハスの葉とヨーグルトの蓋の裏
- ④モルフォ蝶とモルフォテックス
- ⑤蚊の口と痛くない注射針

生物模倣技術：長い年月を経て進化した生物は、環境への対応のため、優れた機能や構造を持っている。これらを模倣し、技術開発やものづくりに生かすことをいう。

